

バタバタ貧乏を脱出するための

3つの教え

特別レポート

【著作権について】

当電子書籍は著作権法で保護されている著作物です。

使用に関しましては以下の点にご注意ください。

- ・ 本電子書籍の著作権は作者である BUYMA Geek 松尾友嗣にあります。 著作権者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。
- ・ 本電子書籍の一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど）により複製、流用および転載することを禁じます。

【使用許諾契約書】

本契約は、本教材をダウンロードした法人・個人（以下、甲とする）と作者（以下、乙とする）との間で合意した契約です。本教材を甲が受け取ることにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的 乙が著作権を有する本教材に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項（第三者への公開の禁止） 本教材に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本教材から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により、いかなる第三者にも公開することを禁じます。

第3条 契約の解除 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約を解除することが出来るものとします。

第4条 損害賠償 甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違約件数と販売価格を乗じた金額を支払うものとします。

はじめに

バタバタ貧乏。

よく「貧乏ひまなし」といわれ、貧乏な人は生活に追われて朝から晩まで働かなければならず、ほかのことをする余裕がないということです。

ここではこの状態のことをバタバタ貧乏、略して『バタ貧』と呼びます。

これとは反対に、お金持ちなのに豊かな時間を持ち合わせている人たちがいます。

これをブラブラ金持ち、略して『ブラ金』と呼ぶことにしますね。

バタ貧とブラ金、どちらがいいでしょう？

聞くまでもなく、ブラ金の方が良いに決まっていますよね！

このレポートではあなたが時間にもお金にも豊かな状態、

いわゆる『ブラ金』になるための3つの教をシェアさせていただきます。

教えその1 「時間」に重きを置く

「時間は大切だよ。」

よく聞く言葉ですが、果たして本当に時間を大切だと思いながら生活をしているものでしょうか？

わかりやすいように、普通のサラリーマンの生活を例にして考えてみましょう。

朝早くから会社に向かい、残業までしてクタクタになって帰宅をする。

帰った後も家のことをして、1日があっという間に過ぎていくものです。

これは一般的に考えて素晴らしいことなんだけど、その生活をあと1年続けたところで

- ・給料が劇的に上がるのでしょうか？
- ・時間的余裕は生まれるのでしょうか？

答えはノーです。

サラリーマンを続ける限り、一生ブラ金になれない事は誰もが分かっています。

分かっているけど口には出さないし、そんな現実と向き合いたく無い人がほとんどでしょう。

これがウソだと思うなら同じ会社のあなたより5年、10年先輩の生活を見て下さい。

自分とさほど変わらない生活を送っていることが分かります。

ということは、あなたが5年、10年その会社で働いても時間とお金に豊かな生活が出来ないことは明確ですね。

時間は簡単に作れる

実は僕も若いころは完全なる「バタ貧」。

1日14時間労働をしながらも手取り月収20万円ほどという、時間もお金も究極に無い生活をしていました。

そこで当時の師匠からブラ金のお話を教えられ、

「このままじゃヤバイ！」と本気で思うことが出来たんです。

というか普通に生活をしていると周りの人たちも全員がバタ貧じゃないですか？

それが普通、それが当たり前。

親も友だちも同級生も、みんなバタ貧です。

ブラ金の人なんて周りにいないし、そんな生き方が存在することすら頭に無いのが普通ですよ。

で、時間とお金を十分に作れば良いことは分かったんだけど
そもそも貧乏でお金なんてないし、作り方もわからない。

でも時間なら簡単に作れることに気がついたんですよ。

自分の生活を見直してみると、結構ムダな時間ってありませんか？

僕の場合はわりとありました。

例えば新聞を読む時間。

新聞なんて読んでも1円も稼げないことは分かっていたんだけど、周りの大人が読んでいるから何となく読まなきゃと思って、朝の大切な時間帯をムダに過ごしていました。

飲みに行く時間もそうですね。

他にもテレビを見る時間や変な移動時間など、忙しいという人ほど時間をないがしろにしているものです。

これらを削るだけなので、時間なんて簡単に作れてしまうんですよ。

究極を言えば「今すぐ会社をやめたら良いよ」って言いたいんだけど、普通の人にはなかなか難しいことですよね。

ブラ金になりたいんだったら、未来が明るくないサラリーマンなんて今すぐやめたら良い。

僕はマジでそう考えていて仲のいい同級生の一人にも言い続けていますが、10年たった今も大きな変化が無いままバタ貧を続けています。

作った時間の使い方

ここまでで、時間が簡単に作れることが分かりました。

あとはお金を稼ぐことが出来ればどんどんブラ金に近づいていけるわけですが

せっかく作った時間をまたムダに使ってしまえば元も子もありません。

その時間を「お金を作るための時間」にあてる必要がありますね。

時間があれば勉強をしたり技術を磨いたり、よりお金を稼げる自分に変えていくことが出来ます。

そのために必要なのは、十分な時間。

時間がない状態だと何も出来ずに一生豊かにはなれません。

それほどに時間が大切だということです。

教えその2 人の時間を使う

少しビジネス寄りの話になりますが、会社勤めの人にも当てはまりますのでぜひ活用していただきたい教えです。

バタ貧の特徴として、全ての仕事を自分でやりたがる傾向にあります。

中小企業の社長なんかはまさにそうで、自分だけで仕事をやりがちなんですよ。

「この仕事は他人に任せられない大事な仕事だ。」

「自分にしか出来ない仕事だから。」

一見カッコいい言葉に見えそうだけど、『This is バタ貧』。

典型的パターンです。

そんな事を続けたところで部下も育たないし、一生忙しいままです。

ブラ金になるために意識したいのは、

自分の仕事を最小限にすること。

出来るだけ多くの仕事をスタッフにやってもらい、本当に自分がやるべきことをすると劇的に変化します。

会社員の方でも部下だけでなく、上司の時間をうまく使うことで自分の仕事が楽になり時間的余裕が出来ることもあるでしょう。

その分、残業やムダな仕事が減り豊かな時間を過ごせるようになるものです。

フリーランスでは

僕はいちおう会社も持っていますが、基本的に個人として働いています。

だから常駐スタッフなどを抱えずに働いているわけですが、それでも人の時間を最大限に使って仕事をしています。

それは、仕事を外注さんに依頼しているからなんです。

クラウドワーカーなどとも呼ばれ、プロジェクト単位で仕事を受けて働く人たちです。

分かりやすく言うと、現代版の内職。

「このお仕事を〇〇円でやって下さい」という仕事の受け方をしている人たちですね。

働く側とすれば働きたい分だけ働くことができ、インターネットの仕事だと在宅で家から一切出る事もなく仕事出来る。

コロナ時代にピッタリの働き方かもしれません。

[クラウドワークス](#)や[ランサーズ](#)といったマッチングサイトで簡単にお仕事を探せるので、ネットスキルのある人だとある程度のお金を稼ぐことが出来ますよ。

仕事を依頼する側としてもお給料や保険などの固定費が掛からずに仕事を依頼できて便利なんですよ。

これをうまく利用することで、月収300万円という利益を出しながらも自分の作業は日に2時間とかで十分なわけです。

会社員でも自分のビジネスでも、人の時間を使うという事を意識すればブラ金になることが出来るということです。

教えその3 捨てる勇気を持つ

うまくいっていないことがあれば、それを捨てることで状況が劇的に良くなる。

そんなことって結構あるものなんです。

先ほどお伝えした「サラリーマンを今すぐ辞めろ」っていうのも一種の“捨てる”ですね。

結果の出ていない事をダラダラと続ける必要は無いんですよ。

それを捨てるには勇気があることなんだけど、決断が必要です。

自分で商売をしている人だったら、あまり売れていない商品を思い切ってラインナップから外してしまう。

副業としてやっている稼げない深夜の居酒屋バイトがあるんなら、スパッとやめてしまう。

そして得意な分野、結果の出ている分野に力を集中させて小さな1番をとるんです。

選択と集中といえは月並みな言葉ですが、コレはめっちゃ大事です。

勝てる部分を残して、あとは捨てる。

一つのことに集中すれば、だいたい小さな1番を取れるものです。

町で1番でも良いし、その商品カテゴリで1番でも良い。

そうすることで時間を節約しながら結果を出して、ブラ金への道が開ける。

全部で勝とうなんて、一部上場企業ですら思っていないことです。

彼らも大きいながらに小さな1番を積み重ねているくらいなんですよ。

だったら僕たち個人はもっと1つの小さなことに集中するべきだと思いませんか？

おわりに

- ・ 教えその1 「時間」に重きを置く
- ・ 教えその2 人の時間を使う
- ・ 教えその3 捨てる勇気を持つ

このように3つの教えをあなたにシェアさせていただきましたが、実はこれらの教えは僕が若い頃に師匠から教えてもらったことです。

もちろん僕はこれらを素直に受け止め、これを教わった2年後から時間に追われない働き方を構築出来ました。

まだお金は無かったけど、朝から妻と一緒に映画を見て、ビールを飲みながらランチ。夕方4時には近くの池を散歩するという生活を送っていました。

もちろんその後の月収300万円に至るまで他の時間は勉強やビジネスにあてていましたが日々ブラ金への道筋をたどってきたということです。

もしそんな生活に興味があるなら、ぜひあなたにもこの3つの教えを覚えておいていただきたいと思います。

次もそのために役立つ情報をお届けしていきますね。

松尾 友嗣